

令和6年度

学校法人北照高等学校 学校評価書

学校法人 北照高等学校
理事長 小路 修司 様

令和6年度学校関係者評価を、教員自己評価・校務分掌、学年の自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果に基づき下記の通り取りまとめましたので報告いたします。

1. 学校関係者評価の実施について

①令和7年3月28日 学校法人北照高等学校理事・評議委員会の中で実施

②令和7年4月29日 北照高等学校PTA総会の中で実施

内容 令和6年度3学期末までの教員自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果及び自己評価を教頭が説明。

2. 評価項目と評価内容

① 教育活動について

令和6年度は、進路活動やプロジェクトにおいて、生徒が主体的に学び行動する機会の増加やその成果が形になった様子を感じることができた。特に、プロジェクト発表会では多くの生徒が自身の活動を振り返り、自分の言葉で立派な発表を行うことができていたと感じることができたことは評価したい。昨年度課題として挙げた、「いじめのない学校づくり」についても、組織の再構築や相談体制の充実等、具体的な対策が実施されており、いじめの早期発見と防止に向けた取り組みを行うことができていたと感じた。

学校で次年度の課題として挙げている、生徒に対する予防指導や進路指導等については、必要性を強く感じるため、令和7年度に具体策をもって取り組みすることを要望したい。

② 生徒質問票の分析結果について

生徒の満足度の数値は高い値を維持することができたとの報告を受け安心した。アンケート結果を見ると人間関係や行事等に加え、近年は授業においても高い満足度を得られており、本校の特色を維持しながら生徒の現

状に合わせた指導を行うことができていると感じた。一方で、教員の自己評価は昨年度よりさらに低下しているため、この原因をしっかりと分析し、教員の感じている問題や不安が、生徒への教育活動に影響しないような対策を講じて欲しい。

③ 総 評

令和6年度の教育活動を精査した結果、昨年度の反省を生かし、特にいじめ対策において具体的な対策を行ったこと、生徒が主体的に学ぶ環境が整備されつつあることを評価したい。令和7年度に向けた課題も明確になっていることからさらに学校改革を進め、在校生やその保護者はもちろん、受験生にとっても魅力的な学校づくりを進めてほしい。

上記の通り報告いたします。

令和7年5月9日

北照高等学校保護者と教師の会会長

川口 政康

印